製剤別　後発品データ（案）　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　2025/04/01

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 後発品 | | 標準品 | | |
| 会　社　名 | 株式会社三和化学研究所 | |  | | |
| 商　品　名 | プレガバリンOD錠75mg「KMP」 | |  | | |
| 薬　　　価 | 1錠：20.00円 | | 1錠：52.40円 | | |
| 成　分　名 | プレガバリン | | | | |
| 規　　　格 | 1錠中プレガバリン75.0mg | | 1錠中プレガバリン75mg | | |
| 薬効分類名 | 疼痛治療剤（神経障害性疼痛・線維筋痛症） | | | | |
| 効能又は効果 | ○神経障害性疼痛  ○線維筋痛症に伴う疼痛 | | | | |
| 用法及び用量 | 〈神経障害性疼痛〉  通常、成人には初期用量としてプレガバリン1日150mgを1日2回に分けて経口投与し、その後1週間以上かけて1日用量として300mgまで漸増する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日最高用量は600mgを超えないこととし、いずれも1日2回に分けて経口投与する。  〈線維筋痛症に伴う疼痛〉  通常、成人には初期用量としてプレガバリン1日150mgを1日2回に分けて経口投与し、その後1週間以上かけて1日用量として300mgまで漸増した後、300～450mgで維持する。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日最高用量は450mgを超えないこととし、いずれも1日2回に分けて経口投与する。 | | | | |
| 添　加　剤 | D-マンニトール、D-マンニトール・トウモロコシデンプン造粒物、結晶セルロース、クロスポビドン、スクラロース、モノステアリン酸グリセリン、ステアリン酸マグネシウム | |  | | |
| 製剤の性状 |  | 直径（mm） | 重量（mg） | 厚さ（mm） | 識別コード・  本体表示 |
| プレガバリンOD錠75mg「KMP」  白色・素錠（口腔内崩壊錠） | 8.0 | 210 | 4.6 | プレガバリン　OD75　KMP |
| 標準品 |  |  |  |  |
| 標準品との  同　等　性 | プレガバリンOD錠75mg「KMP」は、「日局」溶出試験法（パドル法）により試験を行い、溶出性が適当と認められた。  生物学的同等性試験において、標準品と薬物動態が同等と確認された。[社内資料（申請データ）]  溶出試験（回転数：50rpm、試験液：水）  血中濃度比較試験（ヒト）  ①水なし　　　　　　　　　　　　　　　　　　②水あり | | | | |
| 備　　　考 |  | | | | |
| 担当者、連絡先 |  | | | | |